

## 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組 全体総括について

項目	これまでの主な取組	今後の方向性案 概要	いただいた御意見（抜粋）
地域レベルの新たなしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのひろばの見える化</li> <li>・仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見える化の更なる推進</li> <li>・ターゲットと効果的な手法の検討</li> <li>・「公共施設の地域化」に向けた職員意識改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちのひろば」が見える化され、地域の人が見て、閉じこもらずに活動に出ていこうかなというきっかけになる。</li> <li>・公共施設の使い方自体を地域で決めると更に良くなる。</li> <li>・気持ちを耕すという人材育成の視点を持つことが大事。</li> <li>・担い手になった時に、悩みをもみほぐす場のようなものがあると、活動の担い手が増えていくのではないかな。</li> <li>・公的な「まちのひろば」が見える化する一方、勝手に活動している「まちのひろば」が広がるような仕掛けも面白い。</li> <li>・他者の傾聴や承認、励ましがあることでアクションに移れる層がいる。</li> <li>・今は活動していない層もターゲットにしていくと良いのではないかな。</li> </ul>
区域レベルの新たなしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDCの創出及び運営に向けた取組</li> <li>・地域デザイン会議の試行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創出及び運営支援に向けた取組の継続</li> <li>・地域デザイン会議の試行及び検証、本格実施</li> </ul>	<p>【SDCについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が絡むことの意味合いや、市民の担い手がどのように受け止め前向きにやっていけるか、見えてくると良い。</li> <li>・行政がSDCというスキームに参加する、そこを目指していく。従来の行政参加（市民が行政に参加する）と意味が違う。</li> <li>・スタートアップで一番大切な支援は、ソーシャルデザインとは何か、みんなで共通の認識を持てるようにすること。その中から具体的な姿が立ち上がってくる。そのファシリテートが行政の役割。</li> <li>・SDCの可能性は、誰が入っても構わないこと。人的な流動性があること。</li> <li>・生きることそのものを楽しんだり、自分が当事者となり周りを巻き込んで解決しようという市民の声をどう拾うかという時に、SDCがある。</li> <li>・SDCの価値は、現場で市民が話し合い言語化されていくもの。最終的に7つのSDCが互いに学び合えるネットワークを作ることが大事。</li> <li>・試しでやるのは大事で、やってみたらこういうことだったのかと分かる。その上で、行政に関わる以上、市民にとってどういう意味があるのか議論することが大事で、そこから資金をどうするのか、政策化するかなど話が進むかどうか、役所としてどうSDCに関わるかということにつながる。</li> <li>・ソーシャルデザインは「外連（けれん）」。面白いことや楽しいこと、変わったことをやっている人達をある意味呼び寄せひきつける。</li> <li>・継続的な運営には、どうあるべきか語り続ける機能が必要。マンネリ化せず、常に開かれているという意味でも大事。</li> <li>・安定性のある機能がないと、開かれていても何も進まないとなりがねない。理事やスタッフはボランティアとしても、事務局という機能は一定程度インセンティブを含めて、仕事ができる機能を取り付ける必要があるのでは。</li> <li>・できれば上手くデザインをして、市民の方々から事務局となる人がでてくる、そして変わっていくことが必要。語り続ける機能と、事務局の絶妙な設計というのが、SDCがうまくいくためのこだわりポイントだと思う。</li> <li>・資金や場の話は、SDCの価値の言語化や目指すものなどの議論の中で出てくるもの。それありきで入ってしまうと、結局既存の枠組みの中でどうするかという話に落ちてしまう。何をどのようにやっていくのが先にある後に手法や手段を考えた方がよい。</li> </ul> <p>【地域デザイン会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例上の区民会議は区民が参加する会議を総称した言葉と理解すれば、現状の地域デザイン会議も区民会議とみなせる。</li> </ul>
地域レベルと区域レベルにおける「新たなしくみ」とその関係性について	同上	同上	
既存施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり推進組織、区民活動支援コーナー等、市民提案型事業等の整理検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDCとの機能分担等、引き続き整理検討を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの施策のどんな課題がSDCの創出や運営によりどのようにいい方向に変わっていくのか出せると良い。</li> <li>・健康な段階である創出期から踊り場に至り停滞していく大きな理由は、人的な流動性、世代間継承が失われたこと。</li> <li>・これまでは提案させて「お金をつけてあげるよ」というベクトルから市民が勝手にやっているものに行政が「政策にさせていただきます」と発想を変えていく必要がある。</li> </ul>
町内会・自治会等、住民自治組織に関する新たな取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども町会長、活動応援補助金の創設、電子化媒体活用促進業務、依頼ガイドライン等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金好事例の横展開等個別支援の強化</li> <li>・一括配送等負担軽減策の推進</li> <li>・補助制度の見直し等市民創発に向けた見直しの検討</li> <li>・マンション好事例の共有等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担軽減については将来に向けて減らすことが大事で、軽減が見える化することで庁内的な抑止になる。</li> <li>・行政と町内会が向き合って話すことで施策が更に進むと思う。</li> <li>・従来から町内会が取り組んでいる防災や防犯といった事柄に加え、子育てや人権、環境、障がい者の支援といった、同じ地域で取り組む他の団体と取り組むことで、町内会の活動も広がり、加入促進にもつながるのではないかな。</li> <li>・補助金を受けることをきっかけに町内会と組織外の人が連携する取組が広がるとよい。</li> <li>・町内会は地域社会を捕捉する機能を持っており、他の団体が強みとするサービスを提供する機能と双方をミックスさせることで市民創発につながり、地域のステークホルダーとして機能を果たせるのではないかな。</li> </ul>
市域レベルの「新たなしくみ」の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動センターの各種取組</li> <li>・中間支援ネットワーク連絡会議の実施等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを踏まえた取組の推進</li> <li>・SDCとの連携に向けた検討</li> <li>・市域レベルのネットワークの更なる構築</li> </ul>	
行政スタイルや組織のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域化、地域デザイン会議の試行等 再掲</li> </ul>		
職員の意識改革や人材育成等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのひろば職員プロジェクト等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の企画実施。</li> </ul>	

## 川崎市コミュニティ施策検証有識者会議での御意見 まとめ

会議	テーマ	これまでの主な取組	今後の方向性案 概要	主な御意見
第1回 8/22	「まちのひろば」の創出の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのひろばの見える化</li> <li>・仕組みづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見える化の更なる推進</li> <li>・ターゲットと効果的な手法の検討</li> <li>・「公共施設の地域化」に向けた職員意識改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちのひろば」が見える化が進んでいることは素晴らしく、多種多様な「まちのひろば」が一覧化されることで、地域の人がそれを見て、閉じこもらずに活動に出ているのかなというきっかけになる。</li> <li>・公共施設の使い方自体を地域で決めれると更に良くなる。</li> <li>・気持ちを耕すという人材育成の視点を持つことが大事。</li> <li>・担い手になった時に、悩みをもみほぐす場のようなものがあると、活動の担い手が増えていくのではないかな。</li> <li>・公的な「まちのひろば」が見える化する一方、勝手に活動している「まちのひろば」が広がるような仕掛けも面白い。</li> <li>・今は活動していない層もターゲットにしていくと良いのではないかな。</li> <li>・他者の傾聴や承認、励ましがあることでアクションに移れる層がいる。</li> </ul>
	町内会・自治会支援の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども町会長、活動応援補助金の創設、電子化媒体活用促進業務、依頼ガイドライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金好事例の横展開等個別支援の強化</li> <li>・一括配送等負担軽減策の推進</li> <li>・補助制度の見直し等市民創発に向けた見直しの検討等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負担軽減については将来に向けて減らすことが大事で、軽減が見える化することで庁内的な抑止になる。</li> <li>・行政と町内会が向き合って話すことで施策が更に進むと思う。</li> <li>・従来から町内会が取り組んでいる防災や防犯といった事柄に加え、子育てや人権、環境、障がい者の支援といった、同じ地域で取り組む他の団体と取り組むことで、町内会の活動も広がり、加入促進にもつながるのではないかな。</li> <li>・補助金を受けることをきっかけに町内会と組織外の人が連携する取組が広がるとよい。</li> <li>・町内会は地域社会を捕捉する機能を持っており、他の団体が強みとするサービスを提供する機能と双方をミックスさせることで市民創発につながり、地域のステークホルダーとして機能を果たせるのではないかな。</li> </ul>
第2回 10/16	区域レベルの新たなしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDCの創出及び運営に向けた取組</li> <li>・地域デザイン会議の試行</li> <li>・まちづくり推進組織、区民活動支援コーナー等、市民提案型事業等の整理検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創出及び運営支援に向けた取組の継続</li> <li>・地域デザイン会議の試行及び検証、本格実施</li> <li>・SDCとの機能分担等、引き続き整理検討を行う</li> </ul>	<p>【SDCについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がSDCというスキームに参加する、そこを目指していく。従来の行政参加（市民が行政に参加する）と意味が違う。</li> <li>・SDCの価値は、現場で市民が話し合い言語化されていくもの。最終的に7つのSDCが互いに学び合えるネットワークを作ることが大事。</li> <li>・試しでやるのは大事で、やってみたらこういうことだったのかと分かる。その上で、行政が関わる以上、市民にとってどういう意味があるのか議論することが大事で、そこから資金をどうするのか、政策化するかなど話が進むかが、役所としてどうSDCに関わるかということにつながる。</li> <li>・ソーシャルデザインは「外連（けれん）」。面白いことや楽しいこと、変わったことをやっている人達をある意味呼び寄せひきつける。</li> <li>・継続的な運営には、どうあるべきか語り続ける機能が必要。マンネリ化せず、常に開かれているという意味でも大事。</li> <li>・安定性ある機能が必要で。理事やスタッフはボランティアとしても、事務局機能は一定程度インセンティブを含め、仕事ができる機能を有する必要があるのでは。</li> </ul> <p>【地域デザイン会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治基本条例上の区民会議は区民が参加する会議を総称した言葉と理解すれば、現状の地域デザイン会議も区民会議とみなせる。</li> </ul> <p>【既存施策の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは提案させ「お金をつけてあげるよ」という考えから、市民が勝手にやっているものに行政が「政策にさせてください」と発想を変えていく必要がある。</li> <li>・これまでの施策のどんな課題がSDCの創出や運営によりどのようによい方向に変わっていくのか出せると良い。</li> <li>・健康な段階である創出期から踊り場に至り停滞していく大きな理由は、人的な流動性、世代間継承が失われたこと。</li> </ul>
第3回 11/6	市域レベルの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動センターの各種取組等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを踏まえた取組の推進</li> <li>・SDCとの連携に向けた検討等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を踏まえ、既存の団体の再起動に向けた支援と、新たな団体の掘り起こしが今後大事である。</li> <li>・時代の変化に伴い市民活動支援の在り方も変わる。現在は個人としての活動や市民活動だと思わないで市民活動を行っている方が増えている。こうした時代の変化に伴い市民活動支援の在り方も考えていく必要があるし、自分たちの守備範囲を囲い過ぎないことも必要である。</li> <li>・育成に関しては、地域で行われている個人の小さな活動と、今後、NPOや社団法人等に育てていくべき活動と二つに分けて考える必要がある。</li> <li>・区域レベルのカバーするSDCとの連携は重要で、今後具体化させていくことが求められる。</li> <li>・市民活動センターの強みは現場性があることだと思うが、その強みを上手くいかしてアウトリーチ的なニーズの把握も必要ではないかな。</li> </ul>
	マンションコミュニティ等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規マンションへのアプローチ等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション好事例の共有等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションにおいて「コミュニティがあることの良さ」を上手く説明できるとよい。</li> <li>・管理組合ベース、マンション内でのコミュニティ作りに注力するより、地域の中でどのようなコミュニティが形成されるかを考えるのが重要である。</li> <li>・事例を共有するのであれば、その好事例に関わった方の想いを上手く掲載するのが効果的で、そうでないと「うちのマンションでは必要ない」と捉えられてしまう。</li> </ul>
	市民創発に呼応する行政のあり方に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちのひろば職員プロジェクト等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジする職員の育成等の研修の企画実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動や市民活動を盛り上げていくことに対する意義を組織として共有できるとよい。行政の事業の中でもインフラ整備や医療福祉と同じく大事な事業。</li> <li>・将来期待されているような人が必ず地域に出るような仕組みであるとか、地域と一緒に歩んで自らのキャリアにできるような仕組みがあるとよい。</li> <li>・市民創発をひろげていくために、市民のつぶやきを拾って、職員自身がチャレンジしていくことに対してもっと評価できる仕組みがあるとよい。</li> </ul>
	全体総括			<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで頼りにしていた家族の機能が失われていく一方で、個人での活動が昔より広がっており、行政の手が入らなくてもおもしろい活動は沢山生まれているし、行政の手が届かない部分にリーチしている取組がある。その中で、SDCの取組は、これまで行政が施策にできなかった、市民の小さなつぶやきを拾うような場であり、「役にたたない」というような批判にも公然と打ち返せる場になるとよい。</li> <li>・次の10年を見据えたときにどれだけ社会参加を作れるか、どうやって活動を作っていくための下支えができるかが大事。行政サービスで住民を豊にするのではなく、住民同士のつながりをコーディネートすることで、社会参加と活動づくりを支援し、住民のウェルビーイングを高めていくことが大事。同時に社会参加や活動の増加による効用や価値を学術的にも可視化して示していくことは必要。</li> <li>・今後は「行政もまちの一員」というスタンスによりなってくるのだと思う。行政の中だけではない部分をいかに巻き込み職員を育てていくかが大事。</li> <li>・居場所を作るということは「自分が一員である」という感覚を作ることにつながる。身近なところで居場所や社会参加ができると、市に対する一員感が育ってくる</li> </ul>



**開催日時** 2022(令和4)年12月11日(日) 14:00~17:00

**開催場所** 川崎市総合自治会館大会議室

**参加者** 77名 他24名(事務局、登壇者等) 計101名

**内容**

#### ≪前半：SDCリレートーク≫

- オープニングトーク～SDCに期待すること～【中村陽一 立教大学名誉教授】
  - ・ソーシャルデザインとは、社会をデザインするという観点であるが、社会の状況に合わせて時代によって発展性を持つものにしていくため、社会デザイン学会では、あえて定義づけはしていない。
  - ・「ソーシャルデザイン」とは様々な関係性の調整行為であるので、SDCでも人と人や人と組織、地域など関係性を編み直してちゃんと活かすようにすることを期待したい。「従来のまちづくりってこうだよね」とらわれず、「こんな場になったらいいよね」を開かれた場で検討しながら、進めていくとよいと思う。
- 7区SDCについて(現状とこれまでのプロセス)【協働・連携推進課長・CSO】
- 市民自治の視点からSDCを語る【小島聡 法政大学人間環境学部教授】
  - ・川崎市の「自治基本条例」は、人々の自治的な営み、対等な関係で市を運営していこうということが書かれており、コミュニティを尊重している。SDCは、自治基本条例が根底にある。
  - ・「バタフライエフェクト(蝶の羽ばたきが大きな変化を起こす)」のように、例えばこども食堂は一つの活動から始まり、現在は6000を超える活動に広がった。このように皆さんの活動が「世界を変えるかもしれない」。SDCは「かもしれない」を目指す夢や想いを持った人達が集まる場なのかと思う。
- 副市長あいさつ

#### ≪休憩・各区ポスターセッション≫

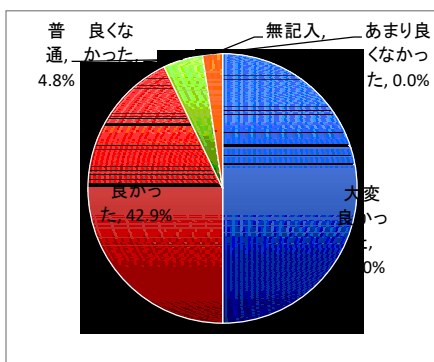
## 《後半：SDC トークセッション》

### ● トークセッション【有識者会議委員 5 名】『希望のシナリオ』実現に向けて～SDC の果たす役割～

- ・ 中村委員 ・ 連続的な越境型学習が必要（自分のいる場所や分野を越えていく）
  - ・ 課題解決というより、課題の発掘や発見、共有を大事に
  - ・ 行政が関わることを意味を、市民の目線から出していく
- ・ 小島委員 ・ 行政に踊らされず、市民が踊る、踊り手を育てる
  - ・ SDC だけで全て抱えてやろうとするのではなく、地域にあふれさせていく
  - ・ 理解されないことも大事、気にせず続ける鈍感力とまちで起きていることに気づいていく敏感力、併せ持つことが大事
- ・ 呉委員 ・ 人と気持ちを耕し盛り上げていくことと、予算・場所・事務局など、閉じたつながりにならないようにバランスや塩梅が大事
  - ・ やめる、離れることを許容できる環境は小さなチャレンジがしやすい
- ・ 橋委員 ・ 立場や活動内容が違う人同士がつながる場に
  - ・ 「楽しい」が広がる関係づくり
  - ・ 何度も作り直す仕組みを
  - ・ 上手くいかなくてもやめられる状況で実験的に始める
- ・ 後藤委員 ・ 嬉しい×共感を育む（今の地域はお互い様になりきっていない、近所で気軽に話せる地域になることを期待している）

## ■ アンケート結果（回答者 42 名）

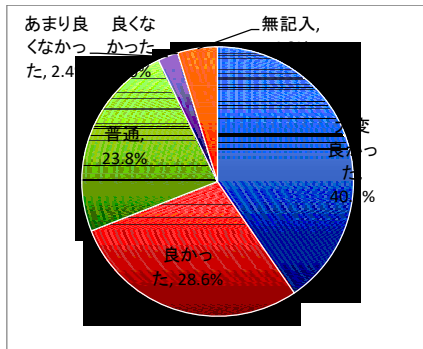
### Q プログラム前半の満足度



#### 理由

- ・ 色々な取組を知ることができた
- ・ 基本的な SDC ってなに？という話からちょっと深いところまで幅広く楽しかった
- ・ SDC の現状、取組を知れた
- ・ 第三者からみた SDC の評価よかったです。各区の SDC を運営の方のお話も聞きたかったです
- ・ 知見のある方々の話と各区の取組の現状が知れた
- ・ ちょっと詰め込みすぎな印象を受けました

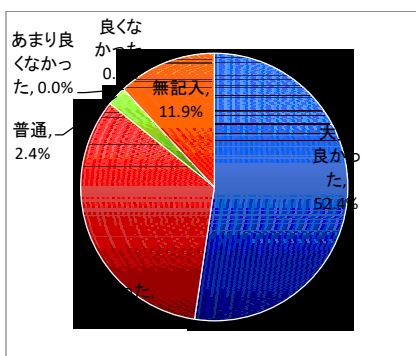
### Q ポスターセッションの満足度



#### 理由

- ・ 色々な意見を聞くことができた
- ・ 人が立っていると自然と会話することができるので、話し始めやすかった
- ・ 参加者の交流の場になっていた
- ・ 各区の様子がわかりました。共通のフォーマットで一覧にしてくれるとパッとみて理解できるとも思いました
- ・ きちんとツアー時間があるとよかったかも

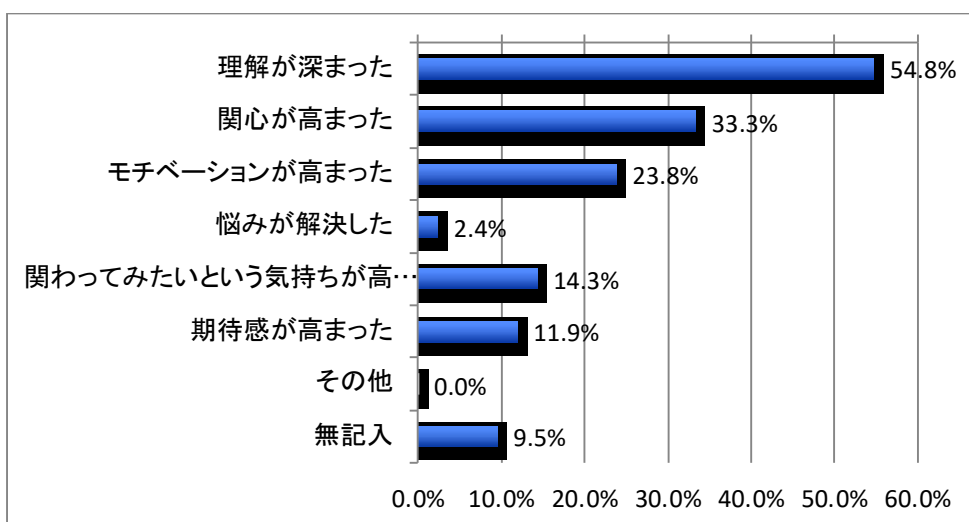
## Q プログラム後半の満足度



### 理由

- ・最後のトークセッションが時間が足りなくて残念
- ・スケッチブックがわかりやすくよかった
- ・多様な考えや意見を多様な方向性から考えることができた
- ・他市、地域の事例が知れて、とても学びになった
- ・先生方の「話したいこと」が私の「聞きたいこと」とオーバーラップしていたので前向きな話だけでなく、アドバイスもあって良かった
- ・話の中に色々なヒントがあり、背中を押してもらった気がする

## Q 本日のイベントを通じた SDC に対する意識の変化



## Q 当日の感想

- ・SDC の活動の方向性の確認ができました。ありがとうございます。
- ・失敗を恐れず、まちづくりをしていきたいと思った。
- ・広い知識を持った方々の興味深いお話を聞くことができ、良い機会となりました
- ・SDC に必要な機能やコーディネートの手法、スピンアウトの仕方などもう少し知りたい。
- ・SDC の理解を深めることができました。SDC は1つのまちづくりとして、交流の場づくり。この交流の場があることによって課題の発掘や意見交換ができていたと思いました。継続していけば、地域の横のつながりが増え、一人一人が楽しく生活することにつながると思います。
- ・SDC の取組、7 区の特徴がとてもよくわかりました。取組がまだ始まったばかりですが、多摩区のイベントなどは興味があり、実施主体が知れて良かったです。
- ・情報量が多くて、自分の頭の中で渋滞してました。まちの人と創って行く、答えのない SDC とはわかってましたが、SDC の運営メンバーとして、まちの方とどのように関わりを深めていくかという視点で“学び”が多かったです。



## 当日の様子



オープニングトーク



全体の様子



7区のSDCについて(CSO)



市民自治の視点からSDCを語る



副市長挨拶



ポスターセッション



トークセッション(呉委員)



トークセッション(橘委員)



トークセッション(後藤委員)



会場からの質問



司会の様子



ファシリテーショングラフィック



閉会挨拶



全体写真



交流会

## 令和4（2022）年度第1回かわさき市民アンケート 調査設計・回答者属性等

## 1 調査設計等

調査対象	川崎市在住の満18歳以上の個人
調査方法	インターネット調査
標本抽出	インターネットモニター登録者から抽出
調査期間	令和4（2022）年8月26日（金）から9月6日（火）まで
有効回収数	1,500 標本
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりとの関わりについて</li> <li>・コミュニティに係る施策について</li> <li>・選挙について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症について</li> </ul>

## 2 調査回答者の属性

## (1) 性/年齢別

(単位 人、%)

	全体		男性		女性		選べない・ 答えたくない	
	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比
18～19歳	30	2.0%	13	1.7%	15	2.1%	2	40.0%
20～29歳	253	16.9%	129	16.8%	124	17.1%	0	0.0%
30～39歳	271	18.1%	143	18.6%	127	17.5%	1	20.0%
40～49歳	305	20.3%	159	20.6%	145	20.0%	1	20.0%
50～59歳	285	19.0%	150	19.5%	134	18.5%	1	20.0%
60～69歳	181	12.1%	93	12.1%	88	12.1%	0	0.0%
70～79歳	175	11.7%	83	10.8%	92	12.7%	0	0.0%
合計	1,500	100.0%	770	100.0%	725	100.0%	5	100.0%

## (2) 居住区別

(単位 人、%)

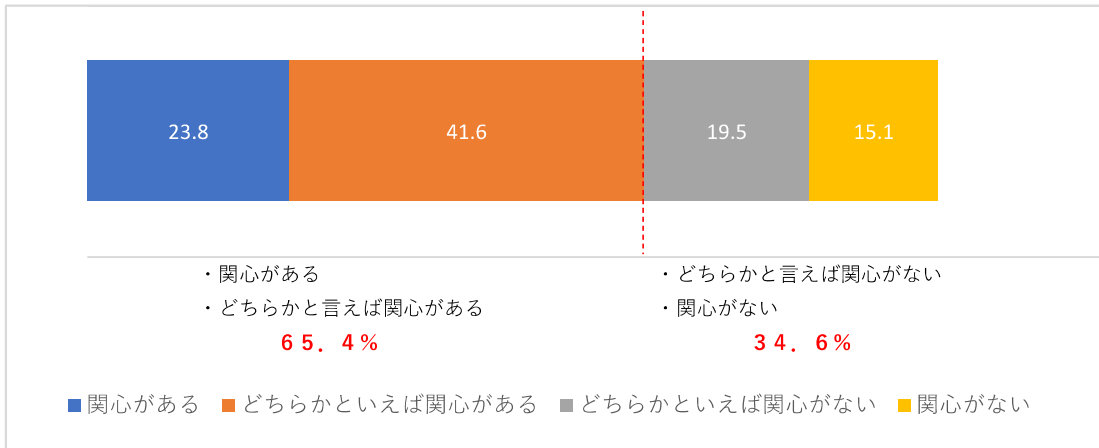
	基数	構成比
川崎区	232	15.5%
幸区	167	11.1%
中原区	260	17.3%
高津区	228	15.2%
宮前区	226	15.1%
多摩区	216	14.4%
麻生区	171	11.4%
合計	1,500	100.0%

※ 令和4（2022）年6月末時点の人口（性/年齢/居住区別 構成比）を基本に、標本抽出しています。

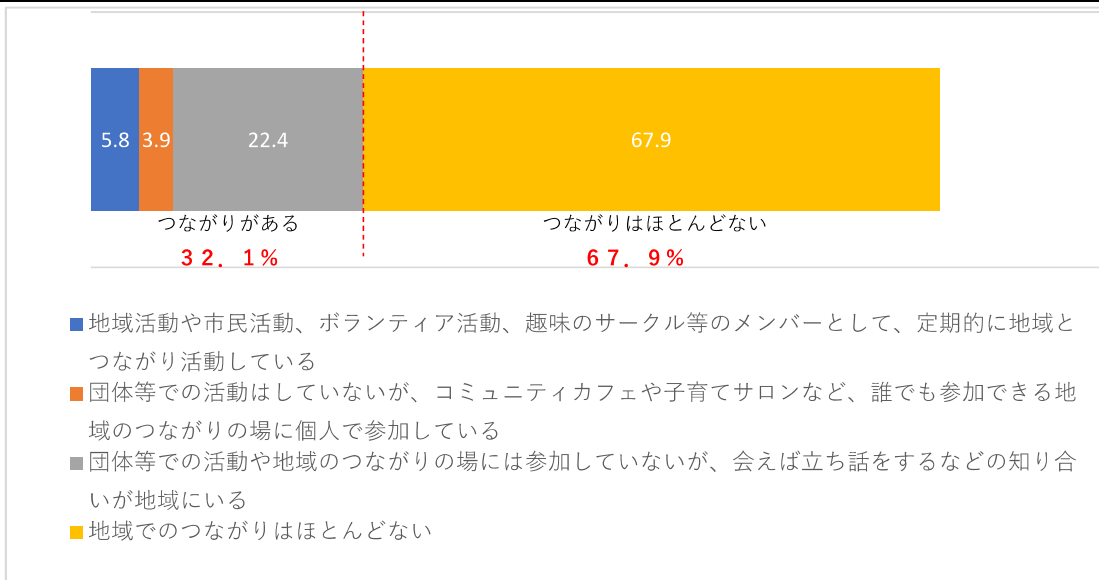
※ 表中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100にならない場合があります。

### 3 主な単純集計結果

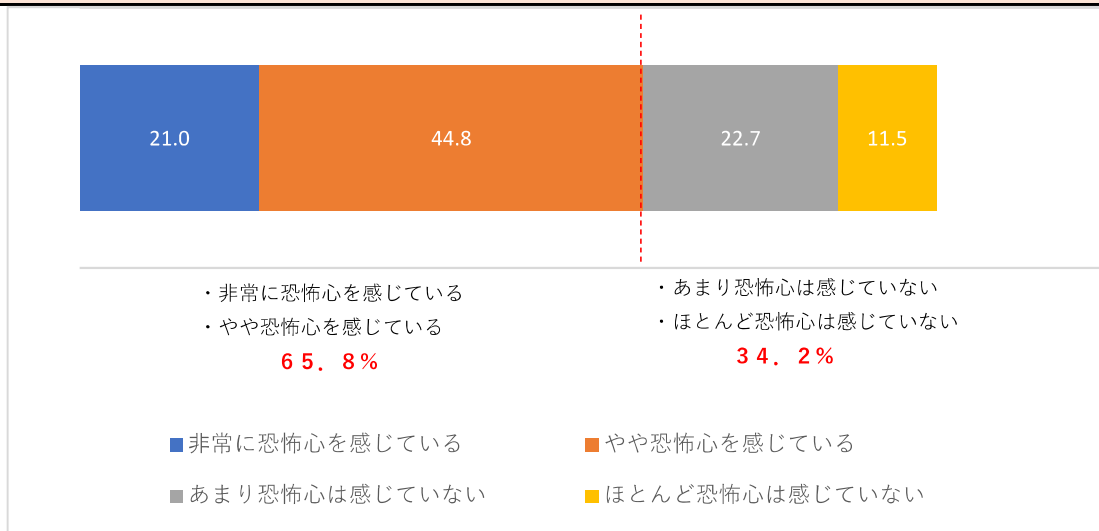
Q1.日常生活の中で、あなたはどの程度「みどり」に関心がありますか。



Q8.あなたは、日常生活の中で、自分の住んでいる地域とどのようなつながりを持っていますか。最も近いものを選んでください。



Q23.あなたは、あなた自身が新型コロナウイルス感染症に感染することに、どの程度恐怖心を感じられていますか。





設問 一覧	
SQ1.	あなたの年齢を教えてください。
SQ2.	あなたの性別を教えてください。
SQ3.	あなたが現在お住まいの区はどちらですか。
Q1.	日常生活の中で、あなたはどの程度「みどり」に関心がありますか。
Q2.	次の「みどり」について、あなたはどの程度、安らぎや癒し、親しみなどの愛着を感じますか。1～8の項目について最も近いものを選んでください。
Q3.	あなたは以下の3つの総合公園それぞれについて、これまでに利用したことがありますか。利用したことがある方については利用頻度について、利用したことがない方については、公園の名称や場所について知っていたかについてお答えください。
Q4.	一番最近利用した時、誰と利用しましたか。
Q5.	一番最近利用した時、どのような目的で利用しましたか。主な利用目的を1つ選んでください。
Q6.	一番最近利用した時の公園への行き方について伺います。 ●鉄道を利用しなかった人⇒自宅からの交通手段を選んでください。 ●鉄道を利用した人⇒公園最寄り駅からの交通手段を選び、利用した駅名（公園最寄り駅）を記入してください。
Q7.	川崎市では、①～⑥のような、みどりに関わる取組を行っています。次の1～3の質問にお答えください。 Q7-1.この中で知っていた取組はありますか。 Q7-2.参加したことがある取組または現在参加している取組はありますか。 Q7-3.今後参加してみたい取組はありますか。
Q8.	あなたは、日常生活の中で、自分の住んでいる地域とどのようなつながりを持っていますか。最も近いものを選んでください。
Q9.	地域のつながりに関わるようになったきっかけは何ですか。最も近いものを選んでください。
Q10.	地域のつながりによって、あなた自身にとって次のような変化がありましたか。1～3の項目について最も近いものを選んでください。
Q11.	特に地域での活動やつながりの場に参加していない理由やお気持ちを教えてください。1～5の項目について最も近いものを選んでください。
Q12.	あなたが参加したいと思う地域の活動やつながりの場はどんなものですか。具体的なイメージがあれば教えてください。（自由記載のため公表はしません。）
Q13.	あなたは、ふだん国や地方の政治にどの程度関心がありますか。外国籍の方は「外国籍である」を選んでください。
Q14.	近年行われた4つの選挙について伺います。それぞれの選挙に投票に行きましたか。
Q15.	投票しなかったのは、どのような理由からですか。
Q16.	昨年10月に衆議院総選挙と同日に行われた川崎市長選挙において、川崎市では様々な手段で投票日・投票の場所・制度や方法についてご案内しました。以下のリストの中で、あなたが実際に見たり、聞いたりしたことがあった項目をすべてお答えください。
Q17.	昨年の市長選挙では、かわさき市政だより10月1日号に選挙の特集を掲載しましたが、見ましたか。
Q18.	今年の参議院選挙では、投票所入場整理券に啓発チラシを同封しましたが、見ましたか。
Q19.	新型コロナウイルス感染症対策の観点から、昨年の川崎市長選挙及び衆議院総選挙、今年の参議院選挙の選挙公報の配布を町内会・自治会等による配布方法から事業者によるポスティングに変更しています。選挙公報は届きましたか。
Q20.	選挙公報は、川崎市の選挙特設ホームページでご覧になれることを知っていますか。
Q21.	川崎市選挙マスコット「イックン」を知っていますか？
Q22.	来年の春（令和5（2023）年4月予定）に行われる川崎市議会議員選挙等の啓発イメージキャラクター起用について、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
Q23.	あなたは、あなた自身が新型コロナウイルス感染症に感染することに、どの程度恐怖心を感じられていますか。

設問 一覧

F1.	あなたは、川崎市内にどのくらいの期間、住んでいらっしゃいますか。川崎市外への転出を経験された方の場合も、川崎市内での居住期間を通算でお答えください。
F2.	あなたは、ご結婚なさっていますか。婚姻届を出していない内縁の関係・事実婚も含めてお答えください。
F3.	お子様はいらっしゃいますか。離れて住んでいる方も含めてお考えください。
F4.	あなたの主なお仕事を教えてください。
F5.	あなたの主なお勤め先あるいは通学先はどちらですか。
F6.	あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。
F7.	現在、同居している方は、あなたを含めて何人ですか。ひとり暮らしの方は「1」人と入力してください。
F8.	同居者がいる方だけにおたずねします。同居している方の中で（ご自身を含む）、以下にあてはまる方はいますか。

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

**SQ1.あなたの年齢を教えてください。**

		(単位 人、%)						
	全体	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
実数	1,500	30	253	271	305	285	181	175
構成比	100.0	2.0	16.9	18.1	20.3	19.0	12.1	11.7

(参考) 18～19歳と20～29歳を合算した場合

		(単位 人、%)					
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳
実数	1,500	283	271	305	285	181	175
構成比	100.0	18.9	18.1	20.3	19.0	12.1	11.7

**SQ2.あなたの性別を教えてください。**

		(単位 人、%)			
	全体	男性	女性	選べない・ 答えたくない	
実数	1,500	770	725	5	
構成比	100.0	51.3	48.3	0.3	

**SQ3.あなたが現在お住まいの区はどちらですか。**

		(単位 人、%)						
	全体	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区
実数	1,500	232	167	260	228	226	216	171
構成比	100.0	15.5	11.1	17.3	15.2	15.1	14.4	11.4

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q1.日常生活の中で、あなたはどの程度「みどり」に関心がありますか。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	関心がある	どちらかといえば 関心がある	どちらかといえば 関心がない	関心がない
実数	1,500	357	624	292	227
構成比	100.0	23.8	41.6	19.5	15.1

Q2.次の「みどり」について、あなたはどの程度、安らぎや癒し、親しみなどの愛着を感じますか。1～8の項目について最も近いものを選んでください。(1つだけ)

【自宅のみどり（室内の観葉植物、家庭菜園、ベランダや庭のみどり）】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	329	468	287	416
構成比	100.0	21.9	31.2	19.1	27.7

【街路樹や街角の花壇】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	315	679	296	210
構成比	100.0	21.0	45.3	19.7	14.0

【オフィスのみどり（室内の観葉植物やビルの花壇、芝生）】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	166	414	368	552
構成比	100.0	11.1	27.6	24.5	36.8

【森や林などの里山】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	446	522	267	265
構成比	100.0	29.7	34.8	17.8	17.7

【駅や商業施設、公共施設のみどり】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	253	611	362	274
構成比	100.0	16.9	40.7	24.1	18.3

【多摩川の河川敷】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	443	581	260	216
構成比	100.0	29.5	38.7	17.3	14.4

【身近な公園】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	503	597	216	184
構成比	100.0	33.5	39.8	14.4	12.3

【田畑などの農地】

(単位 人、%)

	全体	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらかといえば 感じていない	感じていない
実数	1,500	306	531	360	303
構成比	100.0	20.4	35.4	24.0	20.2

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q3.あなたは以下の3つの総合公園それぞれについて、これまでに利用したことがありますか。利用したことがある方については利用頻度について、利用したことがない方については、公園の名称や場所について知っていたかについてお答えください。(それぞれ1つだけ)

【富士見公園】

(単位:人、%)

	全体	利用したことがある計					利用したことがない計			
		ほぼ毎日/毎日	ときどき(月2・3回程度)	たまに(年数回程度)	まれに(数年に1回程度)	公園の名称・場所は知っている	場所はわからないが、公園の名称は聞いたことがある	公園の名称も場所も知らない		
実数	1,500	270	9	23	75	163	1,230	237	227	766
構成比	100.0	18.0	0.6	1.5	5.0	10.9	82.0	15.8	15.1	51.1

【等々力緑地】

(単位:人、%)

	全体	利用したことがある計					利用したことがない計			
		ほぼ毎日/毎日	ときどき(月2・3回程度)	たまに(年数回程度)	まれに(数年に1回程度)	公園の名称・場所は知っている	場所はわからないが、公園の名称は聞いたことがある	公園の名称も場所も知らない		
実数	1,500	631	12	58	157	404	869	389	254	226
構成比	100.0	42.1	0.8	3.9	10.5	26.9	57.9	25.9	16.9	15.1

【生田緑地】

(単位:人、%)

	全体	利用したことがある計					利用したことがない計			
		ほぼ毎日/毎日	ときどき(月2・3回程度)	たまに(年数回程度)	まれに(数年に1回程度)	公園の名称・場所は知っている	場所はわからないが、公園の名称は聞いたことがある	公園の名称も場所も知らない		
実数	1,500	651	2	46	198	405	849	353	272	224
構成比	100.0	43.4	0.1	3.1	13.2	27.0	56.6	23.5	18.1	14.9



■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q4.「利用したことがある」と回答した公園について、直近の利用状況をお伺いします。一番最近利用した時、誰と利用しましたか。(1つだけ)

【富士見公園】

(単位 人、%)

	全体	一人で	家族と(子ども、孫を含む)	友人・知人と
実数	270	86	120	64
構成比	100.0	31.9	44.4	23.7

【等々力緑地】

(単位 人、%)

	全体	一人で	家族と(子ども、孫を含む)	友人・知人と
実数	631	135	346	150
構成比	100.0	21.4	54.8	23.8

【生田緑地】

(単位 人、%)

	全体	一人で	家族と(子ども、孫を含む)	友人・知人と
実数	651	115	399	137
構成比	100.0	17.7	61.3	21.0

Q5.「利用したことがある」と回答した公園について、直近の利用状況をお伺いします。一番最近利用した時、どのような目的で利用しましたか。主な利用目的を1つ選んでください。(1つだけ)

【富士見公園】

(単位 人、%)

	全体	散歩やジョギング、ランジ体操など体を動かす	野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする	スポーツ観戦をする	博物館などの施設を利用する	自然鑑賞をする	食事、休憩をする	遊具で遊ぶ	地域のお祭りやイベントに参加する	ボランティア活動をする	その他
実数	270	72	30	28	7	34	23	15	53	4	4
構成比	100.0	26.7	11.1	10.4	2.6	12.6	8.5	5.6	19.6	1.5	1.5

【等々力緑地】

(単位 人、%)

	全体	散歩やジョギング、ランジ体操など体を動かす	野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする	スポーツ観戦をする	博物館などの施設を利用する	自然鑑賞をする	食事、休憩をする	遊具で遊ぶ	地域のお祭りやイベントに参加する	ボランティア活動をする	その他
実数	631	135	67	168	46	88	34	46	31	7	9
構成比	100.0	21.4	10.6	26.6	7.3	13.9	5.4	7.3	4.9	1.1	1.4

【生田緑地】

(単位 人、%)

	全体	散歩やジョギング、ランジ体操など体を動かす	野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする	スポーツ観戦をする	博物館などの施設を利用する	自然鑑賞をする	食事、休憩をする	遊具で遊ぶ	地域のお祭りやイベントに参加する	ボランティア活動をする	その他
実数	651	147	11	9	121	260	30	37	27	4	5
構成比	100.0	22.6	1.7	1.4	18.6	39.9	4.6	5.7	4.1	0.6	0.8

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q6.「利用したことがある」と回答した公園について、直近の利用状況をお伺いします。一番最近利用した時の公園への行き方について伺います。

- 鉄道を利用しなかった人⇒自宅からの交通手段を選んでください。(1つだけ)
- 鉄道を利用した人⇒公園最寄り駅からの交通手段を選び、利用した駅名(公園最寄り駅)を記入してください。(1つだけ)

【富士見公園】

(単位:人、%)

	全体	鉄道を利用しなかった人計								鉄道を利用した人計	公園最寄り駅からの交通手段						
		鉄道を利用しなかった人計	自宅から自家用車(レンタカー含む)	自宅からバス	自宅からタクシー	自宅からバイク(原付含む)	自宅から自転車(シェアサイクル含む)	自宅から徒歩	自宅からその他の手段		公園最寄り駅から自家用車(レンタカー含む)	公園最寄り駅からバス	公園最寄り駅からタクシー	公園最寄り駅からバイク(原付含む)	公園最寄り駅から自転車(シェアサイクル含む)	公園最寄り駅から徒歩	公園最寄り駅からその他の手段
実数	270	234	70	27	2	9	63	59	4	36	1	5	-	-	1	28	1
構成比	100.0	86.7	25.9	10.0	0.7	3.3	23.3	21.9	1.5	13.3	0.4	1.9	-	-	0.4	10.4	0.4

【等々力緑地】

(単位:人、%)

	全体	鉄道を利用しなかった人計								鉄道を利用した人計	公園最寄り駅からの交通手段						
		鉄道を利用しなかった人計	自宅から自家用車(レンタカー含む)	自宅からバス	自宅からタクシー	自宅からバイク(原付含む)	自宅から自転車(シェアサイクル含む)	自宅から徒歩	自宅からその他の手段		公園最寄り駅から自家用車(レンタカー含む)	公園最寄り駅からバス	公園最寄り駅からタクシー	公園最寄り駅からバイク(原付含む)	公園最寄り駅から自転車(シェアサイクル含む)	公園最寄り駅から徒歩	公園最寄り駅からその他の手段
実数	631	522	208	60	2	16	122	104	10	109	4	35	-	-	1	66	3
構成比	100.0	82.7	33.0	9.5	0.3	2.5	19.3	16.5	1.6	17.3	0.6	5.5	-	-	0.2	10.5	0.5

【生田緑地】

(単位:人、%)

	全体	鉄道を利用しなかった人計								鉄道を利用した人計	公園最寄り駅からの交通手段						
		鉄道を利用しなかった人計	自宅から自家用車(レンタカー含む)	自宅からバス	自宅からタクシー	自宅からバイク(原付含む)	自宅から自転車(シェアサイクル含む)	自宅から徒歩	自宅からその他の手段		公園最寄り駅から自家用車(レンタカー含む)	公園最寄り駅からバス	公園最寄り駅からタクシー	公園最寄り駅からバイク(原付含む)	公園最寄り駅から自転車(シェアサイクル含む)	公園最寄り駅から徒歩	公園最寄り駅からその他の手段
実数	651	521	267	51	3	16	79	92	13	130	4	21	1	-	2	96	6
構成比	100.0	80.0	41.0	7.8	0.5	2.5	12.1	14.1	2.0	20.0	0.6	3.2	0.2	-	0.3	14.7	0.9

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q7.川崎市では、①～⑥のような、みどりに関わる取組を行っています。次の1～3の質問にお答えください。

Q7-1.この中で知っていた取組はありますか。(いくつでも)

(単位 人、%)

	全体	公園での美化活動	街路樹や街角の花壇での美化活動	森や林などの里山での保全活動	みどりのボランティア育成講座	自然体験や環境学習	川崎市緑化基金募金	あてはまるものはない
実数	1,500	399	373	239	173	231	178	1,002
構成比	100.0	26.6	24.9	15.9	11.5	15.4	11.9	66.8

Q7-2.参加したことがある取組または現在参加している取組はありますか。(いくつでも)

(単位 人、%)

	全体	公園での美化活動	街路樹や街角の花壇での美化活動	森や林などの里山での保全活動	みどりのボランティア育成講座	自然体験や環境学習	川崎市緑化基金募金	あてはまるものはない
実数	1,500	103	48	30	24	42	34	1,324
構成比	100.0	6.9	3.2	2.0	1.6	2.8	2.3	88.3

Q7-3.今後参加してみたい取組はありますか。(いくつでも)

(単位 人、%)

	全体	公園での美化活動	街路樹や街角の花壇での美化活動	森や林などの里山での保全活動	みどりのボランティア育成講座	自然体験や環境学習	川崎市緑化基金募金	あてはまるものはない
実数	1,500	196	151	158	128	157	122	1,146
構成比	100.0	13.1	10.1	10.5	8.5	10.5	8.1	76.4

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q8.あなたは、日常生活の中で、自分の住んでいる地域とどのようなつながりを持っていますか。最も近いものを選んでください。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	地域活動や市民活動、ボランティア活動、趣味のサークル等のメンバーとして、定期的に地域とつながり活動している	団体等での活動はしていないが、コミュニティカフェや子育てサロンなど、誰でも参加できる地域のつながりの場に個人で参加している	団体等での活動や地域のつながりの場には参加していないが、会えば立ち話をするなどの知り合いが地域にいる	地域でのつながりはほとんどない
実数	1,500	87	58	336	1,019
構成比	100.0	5.8	3.9	22.4	67.9

Q9.Q8で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。地域のつながりに関わるようになったきっかけは何ですか。最も近いものを選んでください。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	人から誘われて参加した	広報誌やチラシなど、紙媒体から情報を得て自発的に参加した	ホームページやSNSなど、電子媒体から情報を得て自発的に参加した	その他
実数	145	61	44	27	13
構成比	100.0	42.1	30.3	18.6	9.0

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q10.Q8で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。地域のつながりによって、あなた自身にとって次のような変化がありましたか。1～3の項目について最も近いものを選んでください。(1つだけ)

【自分の生きがいや健康づくりにつながった】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	145	47	65	27	6
構成比	100.0	32.4	44.8	18.6	4.1

【地域で困ったときに支え合えるような知り合いが増えた】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	145	35	79	25	6
構成比	100.0	24.1	54.5	17.2	4.1

【地域のことを知って愛着がわいたり、地域の課題を考えたりようになった】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	145	32	79	26	8
構成比	100.0	22.1	54.5	17.9	5.5



■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q11.Q8で「3」または「4」を選んだ方にお聞きします。特に地域での活動やつながりの場に参加していない理由やお気持ちを教えてください。1～5の項目について最も近いものを選んでください。

【時間的制約があり、継続的な参加は難しい】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	1,355	457	510	259	129
構成比	100.0	33.7	37.6	19.1	9.5

【イベントや交流会など誰でも気軽に参加できる機会がないと参加しづらい】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	1,355	365	611	249	130
構成比	100.0	26.9	45.1	18.4	9.6

【誰かの誘いがないと参加しづらい】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	1,355	375	565	269	146
構成比	100.0	27.7	41.7	19.9	10.8

【地域の活動やつながりの場について情報が少ない】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	1,355	363	662	214	116
構成比	100.0	26.8	48.9	15.8	8.6

【地域でこれ以上のつながりをもつ必要性を感じていない】

(単位 人、%)

	全体	とてもよくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
実数	1,355	280	559	373	143
構成比	100.0	20.7	41.3	27.5	10.6

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q13.あなたは、ふだん国や地方の政治にどの程度関心がありますか。外国籍の方は「外国籍である」を選んでください。(1つだけ)

【国政選挙（衆議院総選挙・参議院選挙）】

(単位 人、%)

	全体	関心がある	多少は関心がある	あまり関心がない	関心はない	外国籍である
実数	1,500	509	485	273	227	6
構成比	100.0	33.9	32.3	18.2	15.1	0.4

【地方選挙（市長選挙・市議会議員選挙等）】

(単位 人、%)

	全体	関心がある	多少は関心がある	あまり関心がない	関心はない	外国籍である
実数	1,500	419	485	345	245	6
構成比	100.0	27.9	32.3	23.0	16.3	0.4

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q14.近年行われた4つの選挙について伺います。それぞれの選挙に投票に行きましたか。(1つだけ)

【令和4(2022)年7月10日の参議院選挙】

(単位:人、%)

	全体	投票した	投票しなかった	選挙権がなかった	覚えていない
実数	1,494	1,043	357	2	92
構成比	100.0	69.8	23.9	0.1	6.2

【令和3(2021)年10月31日の川崎市長選挙】

(単位:人、%)

	全体	投票した	投票しなかった	選挙権がなかった	覚えていない
実数	1,494	990	361	22	121
構成比	100.0	66.3	24.2	1.5	8.1

【令和3(2021)年10月31日の衆議院総選挙】

(単位:人、%)

	全体	投票した	投票しなかった	選挙権がなかった	覚えていない
実数	1,494	1,032	335	10	117
構成比	100.0	69.1	22.4	0.7	7.8

【平成31(2019)年4月7日の統一地方選挙(市議会議員選挙)】

(単位:人、%)

	全体	投票した	投票しなかった	選挙権がなかった	覚えていない
実数	1,494	916	373	43	162
構成比	100.0	61.3	25.0	2.9	10.8

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q15.Q14で「投票しなかった」と回答した選挙についてお伺いします。投票しなかったのは、どのような理由からですか。(1つだけ)

【令和4(2022)年7月10日の参議院選挙】

(単位 人、%)

	全体	仕事や用事等で忙しかったから	新型コロナウイルスへの感染が心配だったから	政治や選挙に関心がなかったから	投票したい候補者・政党がなかったから	選挙があることを知らなかったから	その他
実数	357	77	35	93	105	12	35
構成比	100.0	21.6	9.8	26.1	29.4	3.4	9.8

【令和3(2021)年10月31日の川崎市長選挙】

(単位 人、%)

	全体	仕事や用事等で忙しかったから	新型コロナウイルスへの感染が心配だったから	政治や選挙に関心がなかったから	投票したい候補者・政党がなかったから	選挙があることを知らなかったから	その他
実数	361	71	36	99	101	22	32
構成比	100.0	19.7	10.0	27.4	28.0	6.1	8.9

【令和3(2021)年10月31日の衆議院総選挙】

(単位 人、%)

	全体	仕事や用事等で忙しかったから	新型コロナウイルスへの感染が心配だったから	政治や選挙に関心がなかったから	投票したい候補者・政党がなかったから	選挙があることを知らなかったから	その他
実数	335	65	29	100	98	13	30
構成比	100.0	19.4	8.7	29.9	29.3	3.9	9.0

【平成31(2019)年4月7日の統一地方選挙(市議会議員選挙)】

(単位 人、%)

	全体	仕事や用事等で忙しかったから	新型コロナウイルスへの感染が心配だったから	政治や選挙に関心がなかったから	投票したい候補者・政党がなかったから	選挙があることを知らなかったから	その他
実数	373	73	28	112	105	23	32
構成比	100.0	19.6	7.5	30.0	28.2	6.2	8.6

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q16.昨年10月に衆議院総選挙と同日に行われた川崎市長選挙において、川崎市では様々な手段で投票日・投票の場所・制度や方法についてご案内しました。以下のリストの中で、あなたが実際に見たり、聞いたりしたことがあった項目をすべてお答えください。(あてはまるものすべて)

(単位 人、%)

	全体	市役所、区役所等市内の公共機関や各学校に掲出する広告(ポスターのぼり旗・横断幕・懸垂幕等)	ターミナル駅の柱、階段等に掲出する広告(ポスター・横断幕・フラッグ・バルーン・フロア広告等)	新聞折り込みによるチラシ	市役所や区役所の広報車やゴミ収集車による放送	バスの正面へ掲出する幕	川崎市の選挙特設ホームページ	選挙の啓発イメージキャラクターに起用した莉子さんのSNS	トインチャンネルや大型ビジョンで放映するCM動画	FMラジオによるCM	タウン誌等の広告	ポスター掲示場	上記すべて見たり、聞いたりしなかった
実数	1,494	571	383	364	118	122	145	18	21	15	126	437	434
構成比	100.0	38.2	25.6	24.4	7.9	8.2	9.7	1.2	1.4	1.0	8.4	29.3	29.0

Q17.昨年の市長選挙では、かわさき市政だより10月1日号に選挙の特集を掲載しましたが、見ましたか。(1つだけ)

(単位 人、%)

	全体	じっくり読んだ	目は通した	見たことはあるが読んでいない	見たことはない
実数	1,494	58	439	260	737
構成比	100.0	3.9	29.4	17.4	49.3

Q18.今年の参議院選挙では、投票所入場整理券に啓発チラシを同封しましたが、見ましたか。(1つだけ)

(単位 人、%)

	全体	じっくり読んだ	目は通した	見たことはあるが読んでいない	見たことはない
実数	1,494	67	437	231	759
構成比	100.0	4.5	29.3	15.5	50.8

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q19.新型コロナウイルス感染症対策の観点から、昨年の川崎市長選挙及び衆議院総選挙、今年の参議院選挙の選挙公報の配布を町内会・自治会等による配布方法から事業者によるポスティングに変更しています。選挙公報は届きましたか。(1つだけ)

【令和4(2022)年7月10日の参議院選挙】 (単位:人、%)

	全体	届いた	届いたかわからない・気がつか なかった	届かなかった
実数	1,494	570	586	338
構成比	100.0	38.2	39.2	22.6

【令和3(2021)年10月31日の川崎市長選挙】 (単位:人、%)

	全体	届いた	届いたかわからない・気がつか なかった	届かなかった
実数	1,494	510	638	346
構成比	100.0	34.1	42.7	23.2

【令和3(2021)年10月31日の衆議院総選挙】 (単位:人、%)

	全体	届いた	届いたかわからない・気がつか なかった	届かなかった
実数	1,494	508	633	353
構成比	100.0	34.0	42.4	23.6

Q20.選挙公報は、川崎市の選挙特設ホームページでご覧になれることを知っていますか。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	見たことがある	知っていたが、 見たことはない	知らなかった
実数	1,494	209	360	925
構成比	100.0	14.0	24.1	61.9



■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

Q21.川崎市選挙マスコット「イックン」を知っていますか。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	イラストも名前も知っていた	イラストは見たことはあるが、名前は知らなかった	イラストは見たことはないが、名前は聞いたことがある	イラストも名前も知らなかった
実数	1,494	128	270	55	1,041
構成比	100.0	8.6	18.1	3.7	69.7

Q22.来年の春(令和5(2023)年4月予定)に行われる川崎市議会議員選挙等の啓発イメージキャラクター起用について、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	川崎市選挙マスコット「イックン」を起用する	知名度の高いアニメキャラクターを起用する	川崎市に縁のあるタレント・新たに選挙権を有したタレント(18歳)を起用する	川崎市を拠点に活躍するかわさきスポーツパートナーを起用する	その他のイメージキャラクターを起用した方がよい	イメージキャラクターの起用はやめるべきだ
実数	1,494	303	209	235	253	16	478
構成比	100.0	20.3	14.0	15.7	16.9	1.1	32.0

Q23.あなたは、あなた自身が新型コロナウイルス感染症に感染することに、どの程度恐怖心を感じられていますか。(1つだけ)

(単位:人、%)

	全体	非常に恐怖心を感じている	やや恐怖心を感じている	あまり恐怖心を感じていない	ほとんど恐怖心を感じていない
実数	1,500	315	672	340	173
構成比	100.0	21.0	44.8	22.7	11.5

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

F1.あなたは、川崎市内にどのくらいの期間、住んでいらっしゃいますか。川崎市外への転出を経験された方の場合も、川崎市内での居住期間を通算でお答えください。

(単位 人%)

	全体	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
実数	1,500	38	35	36	50	33	58	31	41	28	16
構成比	100.0	2.5	2.3	2.4	3.3	2.2	3.9	2.1	2.7	1.9	1.1

	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
実数	78	14	24	19	23	60	18	25	34	27
構成比	5.2	0.9	1.6	1.3	1.5	4.0	1.2	1.7	2.3	1.8

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
実数	112	20	18	18	13	49	16	18	17	13
構成比	7.5	1.3	1.2	1.2	0.9	3.3	1.1	1.2	1.1	0.9

	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年
実数	64	6	15	16	8	45	18	20	15	9
構成比	4.3	0.4	1.0	1.1	0.5	3.0	1.2	1.3	1.0	0.6

	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年	49年
実数	70	4	10	6	13	21	9	10	9	12
構成比	4.7	0.3	0.7	0.4	0.9	1.4	0.6	0.7	0.6	0.8

	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年
実数	42	4	7	6	7	13	7	6	-	2
構成比	2.8	0.3	0.5	0.4	0.5	0.9	0.5	0.4	-	0.1

	60年	61年	62年	63年	64年	65年	66年	67年	68年	69年
実数	9	2	3	1	3	3	1	1	3	3
構成比	0.6	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2

	70年	71年	72年	73年	74年	75年	76年	77年	78年	79年
実数	10	1	-	1	1	1	-	-	1	-
構成比	0.7	0.1	-	0.1	0.1	0.1	-	-	0.1	-

居住年数

(単位 人%)

	全体	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上
実数	1,500	38	71	83	174	322	812
構成比	100.0	2.5	4.7	5.5	11.6	21.5	54.1

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

F2.あなたは、ご結婚なさっていますか。婚姻届を出していない内縁の関係・事実婚も含めてお答えください。

(単位 人、%)

	全体	結婚したことが ない	結婚している	結婚したことはあるが、今は独身
実数	1,500	540	842	118
構成比	100.0	36.0	56.1	7.9

F3.お子様はいらっしゃいますか。離れて住んでいる方も含めてお考えください。

(単位 人、%)

	全体	子どもがいる	子どもはいない
実数	1,500	711	789
構成比	100.0	47.4	52.6

F4.あなたの主なお仕事を教えてください。

(単位 人、%)

	全体	自営業主	自営業の 手伝い (家族従業者)	会社などの 経営者・役員	正社員・ 正職員	パート・アルバイト・ 嘱託職員・派遣社員 (正社員・ 正職員以外)	主婦・主夫 (家事専業)	学生	無職 (収入が年金のみの 方を含む)	その他
実数	1,500	76	7	28	618	278	241	62	161	29
構成比	100.0	5.1	0.5	1.9	41.2	18.5	16.1	4.1	10.7	1.9

F5.あなたの主な通勤先あるいは通学先はどちらですか。

(単位 人、%)

	全体	自宅	川崎市 (お住まいと同じ区で 自宅以外)	川崎市 (お住まいと別の区)	横浜市	川崎市・ 横浜市以外の神 奈川県	東京23区	東京都 (23区以外)	神奈川県・ 東京都以外の道 府県	通勤・通学 していない
実数	1,098	101	194	159	117	26	444	41	10	6
構成比	100.0	9.2	17.7	14.5	10.7	2.4	40.4	3.7	0.9	0.5

■令和4年度かわさき市民アンケート(第1回)\_単純集計表

F6.あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

(単位 人、%)

	全体	持ち家 (一戸建)	持ち家 (マンションなどの集 合住宅)	賃貸住宅 (一戸建)	賃貸住宅 (マンション・アパート などの 一般的な長間の 集合住宅)	市営住宅や県営 住宅などの公営 住宅	社宅・寮・公務 員住宅	その他
実数	1,500	450	461	37	488	22	27	15
構成比	100.0	30.0	30.7	2.5	32.5	1.5	1.8	1.0

F7.現在、同居している方は、あなたを含めて何人ですか。ひとり暮らしの方は「1」人と入力してください。

(単位 人、%)

	全体	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
実数	1,500	355	468	372	231	52	16	4	1	-	1
構成比	100.0	23.7	31.2	24.8	15.4	3.5	1.1	0.3	0.1	-	0.1

同居人数

(単位 人、%)

	全体	単身世帯	2人	3人	4人	5人以上
実数	1,500	355	468	372	231	74
構成比	100.0	23.7	31.2	24.8	15.4	4.9

F8.同居者がいる方だけにおたずねします。同居している方の中で（ご自身を含む）、以下にあてはまる方はいますか。

(単位 人、%)

	全体	未就学児	小学生・ 中学生・ 高校生	短大生・ 専門学校生・ 大学生・ 大学院生	75歳以上 の方	上記に 当てはまる ものはない
実数	1,145	133	209	113	176	587
構成比	100.0	11.6	18.3	9.9	15.4	51.3

令和4年度

「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく取組の検証  
報告書

令和5(2023)年3月

川崎市市民文化局 コミュニティ推進部 協働・連携推進課

TEL 044-200-1986 FAX 044-200-3800

E-mail 25kyodo@city.kawasaki.jp